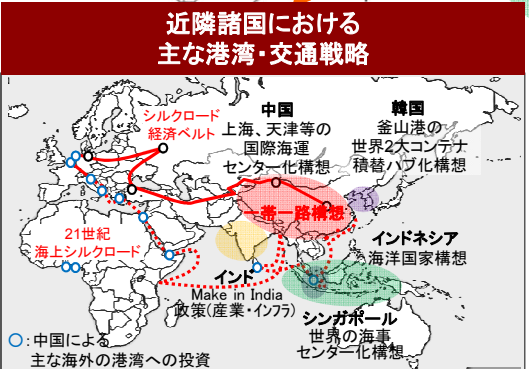
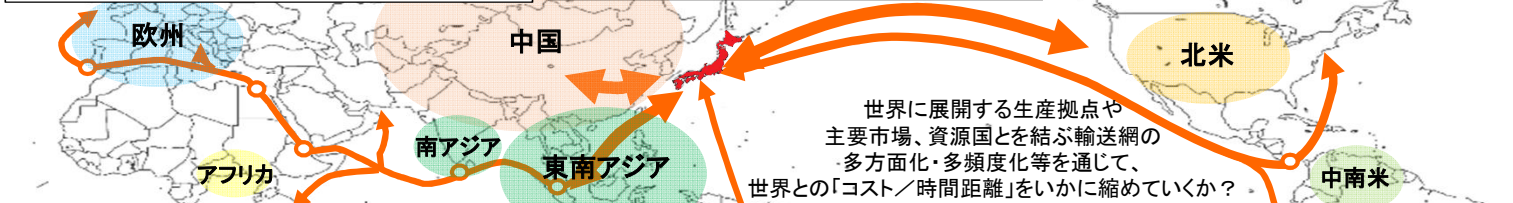
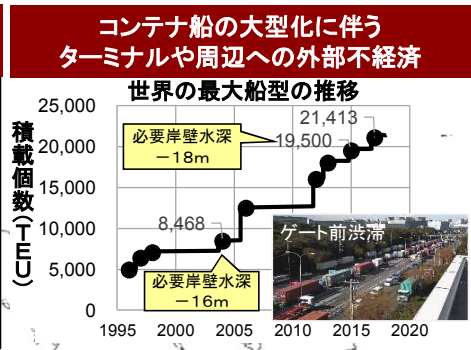
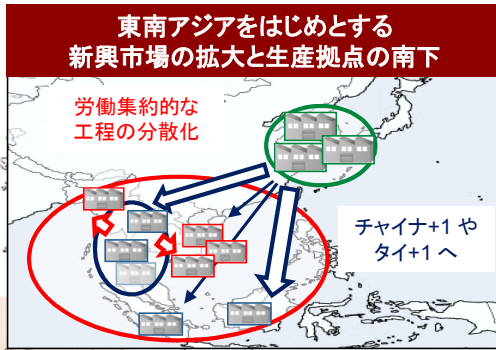


我が国の港湾を取り巻く情勢

船型の大型化に伴う寄港先の集約と海外港湾での積替輸送(T/S)比率の増大				
	欧州		東アジア	
基幹航路の平均船型	(2001年) 5,000TEU	(2015年) 13,600TEU	(2001年) 3,900TEU	(2015年) 7,000TEU
我が国への寄港ループ数(寄港率)	(2001年) 9/26 (35%)	(2015年) 2/21 (10%)	(2001年) 31/49 (63%)	(2015年) 16/61 (26%)
コンテナ貨物の直航輸送率(トンベース)	(2003年) 80%	(2015年) 59%	(2003年) 91%	(2015年) 86%



中長期政策の構成

国内外の社会経済情勢の展望

- ✓ 新興市場の拡大と生産拠点の南下、インバウンド客の増加
- ✓ 人口減少・超成熟化社会の到来と労働力不足
- ✓ 第4次産業革命の進展
- ✓ 資源獲得競争の激化と低炭素社会への移行
- ✓ 巨大災害の切迫とインフラの老朽化

港湾政策の基本的理念

- ☆ 地政学的な変化やグローバルな視点を意識
- ☆ 地域とともに考える
- ☆ 「施設提供型」から「ソリューション提供型」へ
- ☆ 「賢く」使う
- ☆ 「進化する」港湾へ

【2030年の港湾が果たすべき役割】

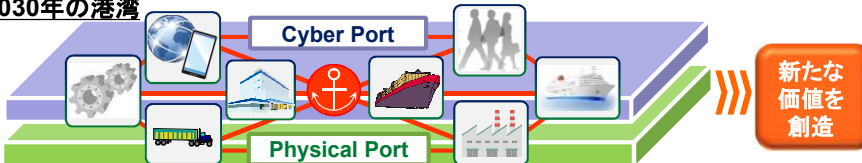
I. 列島を世界に開き、つなぐ【Connected Port】

- ・グローバルSCM、農林水産品輸出、越境EC等も活用して、世界で稼ぐ
- ・人手不足に対応し、国内輸送を支える
- ・再生部品輸出や越境修繕サービス等のサーキュラーエコノミーの取込み
- ・アジアのクルーズ需要の更なる取込み、寄港地の全国展開、国内市場の開拓

II. 新たな価値を創造する空間【Premium Port】

- ・地域の価値を向上させ、観光客や市民を引寄せられる美しい「コトづくり」空間に
- ・ロジスティクスを核として付加価値を生み出す新たな産業の展開
- ・資源エネルギーチェーンの世界的な変化の先取り、コンビナート再生
- ・地球環境や海洋権益の保全

○2030年の港湾



あらゆるモノ、ヒト、情報、主体、空間をつなぐ、「フィジカル&サイバープラットフォーム」へと進化

III. 第4次産業革命を先導するプラットフォーム【Smart Port】

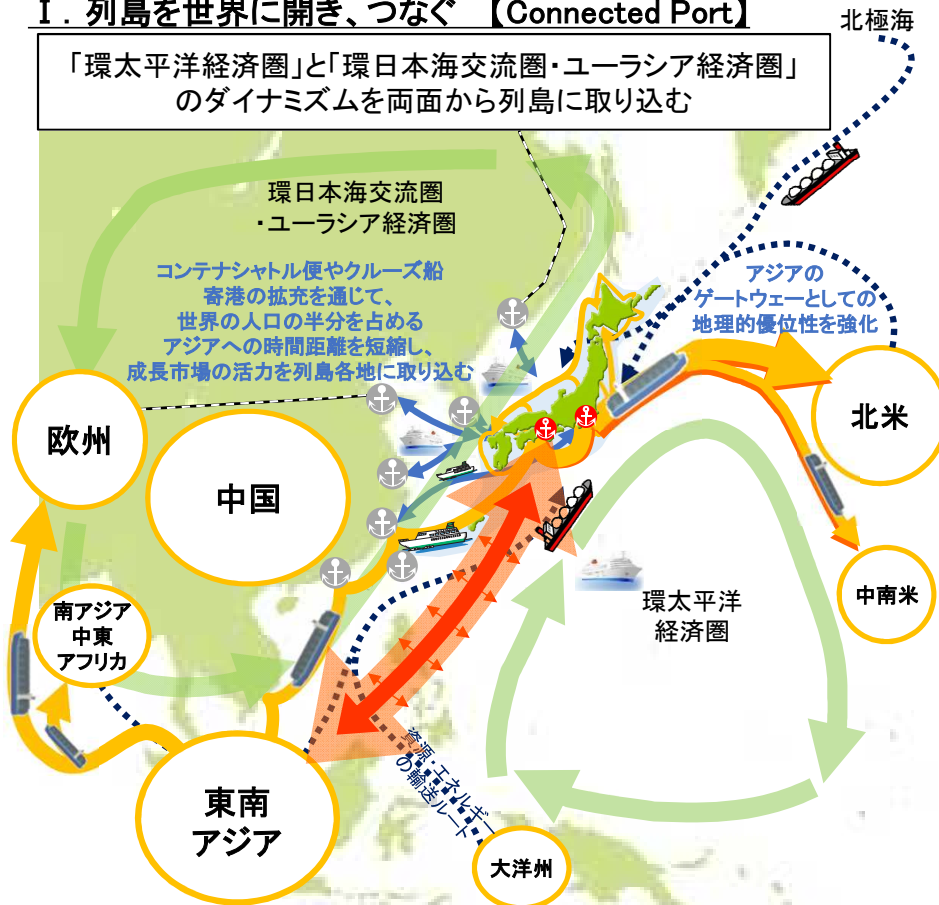
- ・AIやIoTを活用した港湾の建設・維持管理・運営サイクル全体のスマート化、強靱化
- ・様々なつながりを通じて新たな付加価値の創出を目指す「Connected Industries」を支えるプラットフォームに進化させるとともに、海外展開やスマートワーク化を促進

中長期政策の方向性(8本柱)

1. グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築
2. 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築
3. 列島のまるごとクルーズアイランド化
4. ブランド価値を生む空間形成
5. 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成
6. 港湾・物流活動のグリーン化
7. 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化
8. 港湾建設・維持管理技術の変革と海外展開

I. 列島を世界に開き、つなぐ 【Connected Port】

「環太平洋経済圏」と「環日本海交流圏・ユーラシア経済圏」のダイナミズムを両面から列島に取り込む



1. グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築

- ・シンガポールへのシャトル便をはじめ、我が国産業にとって戦略的生産拠点かつ最重要市場となりつつある東南アジアと国内主要港を直結する航路網の拡充
- ・国際コンテナ戦略港湾の更なる機能強化と国内外からの集貨等を通じた基幹航路の維持・拡充
- ・SCMの更なる深化に対応した国際シームレス輸送の拡充等、多様な速度帯による重層的な航路網の形成

2. 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築

- ・「高規格ユニットロードターミナル」の展開等を通じた柔軟でシームレスな海陸一貫輸送網の形成
- ・サプライチェーンの高度化に対応した物流施設の再配置と、物流を核として新たな付加価値を生み出す新産業の港湾への展開

3. 列島のまるごとクルーズアイランド化

- ・官民連携による国際クルーズ拠点の形成等を通じた我が国発着クルーズの拡充や寄港地の全国展開
- ・幅広いインバウンド客の取り込みや日本人市場の開拓を通じた安定したクルーズ市場・関連産業の育成
- ・フェリーや鉄道等と組合せた広域周遊ルートの展開

II. 新たな価値を創造する空間 【Premium Port】

4. ブランド価値を生む空間形成

- ・船からの景観も考慮し、「海に開け、船や来客を迎え入れる」おもてなし空間の形成
- ・内港地区の再編や港湾施設の多目的利用を通じた賑わい空間の創出

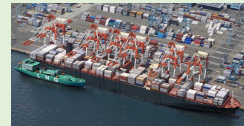


5. 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成

- ・コンビナートの生産設備の更新と合わせた輸送インフラの更新・改良・強化の促進や企業間の共同輸送の促進を通じた基礎素材産業の競争力強化
- ・大型船への対応による調達先の多様化を通じたバリエーションパワーの確保、受入拠点の分散によるリスク低減
- ・新エネルギーや海洋資源の開発・供給・利用のための活動拠点の形成

6. 港湾・物流活動のグリーン化

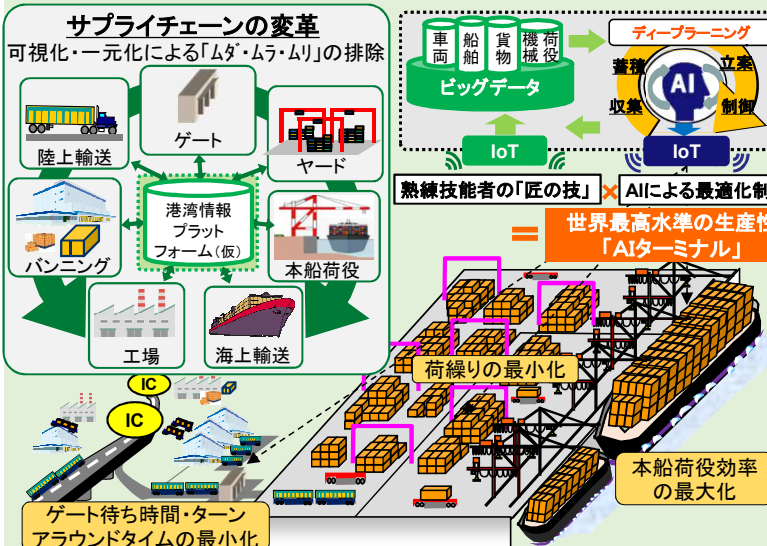
- ・世界に先駆けた“カーボンフリーポート”の実現
- ・LNGバンカリング拠点の形成と国内展開



III. 第4次産業革命を先導するプラットフォーム 【Smart Port】

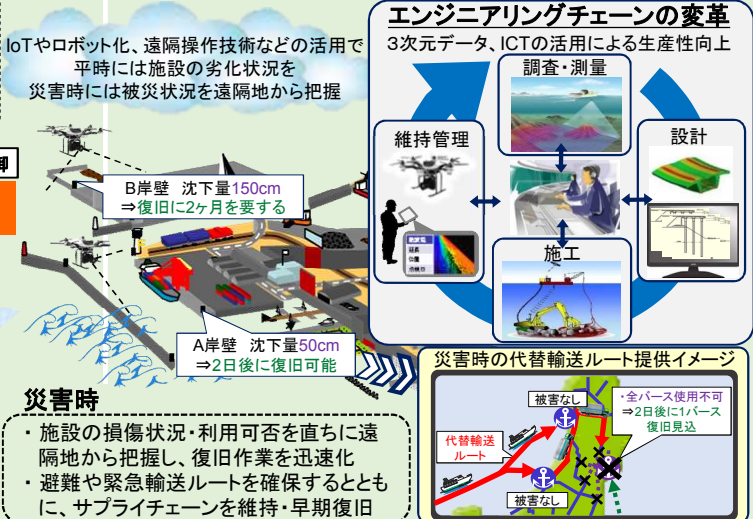
7. 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靭化

- ・AIやIoTを実装し、世界最高水準の生産性を目指す「AIターミナル」の実現
- ・情報の発信・共有化を通じたサプライチェーン全体の最適化と、海外への展開



8. 港湾建設・維持管理技術の変革と海外展開

- ・設計・施工・点検業務の効率化、作業環境の改善・安全確保
- ・港湾施設の劣化状況の遠隔モニタリング技術の活用による施設老朽化に伴う事故等の未然防止



⇒ 港湾関連産業の生産性向上のみならず、就労環境の改善や働き方改革、海外展開を通じて成長産業に